

『もりおかの短歌』秋の部

〈一般部門〉優秀賞十首

ほうけい まといぬ まつぶた
方形の射抜かれて真二つ

うま しっく
馬は疾駆すよ

はちまんぐう ばば
八幡宮の馬場

盛岡市 石川 修子

きみ す こずかた
君が住む不来方のさと

あき む かき
秋めいて剥きたての柿

のき いろ
軒を色どる

盛岡市 赤坂 昌信

うちまる ある
内丸のそぞろ歩きにつれづれに

とち みお
栃の実落ちて

あき かな
秋を奏でる

盛岡市 中島 久光

ふうりゆうだし
風流山車

こうじょうそら さ
口上空に冴えわたり

たいこばやし とつじよな だ
太鼓囃子が突如鳴り出す

盛岡市 小林 貴史

たくぼく す たもの
啄木の好きな食べ物

そば かぼちゃ
蕎麦南瓜

むし ねき こよいあじわ
虫の音聞いて今宵味う

盛岡市 西川 政勝

ヤーレヤレの

か ごえひび あきまつ
掛け声響く秋祭り

だし ぎぼし にあ もりおか
山車と擬宝珠の似合う盛岡

盛岡市 河野 康夫

きざひし のぼ
階を昇り

ざしき ま
座敷に待ちをれば

わ だし そばてん
和の出汁かほるわんこ蕎麦店

盛岡市 工藤 由美子

なかつがわ なみ なかさげかえ
中津川さざ波の中鮭還る

なつ
もりおか懐かし

こい
ふるさと恋し

青森県弘前市 木村 千尋

もりおか しろ ほり
盛岡のお城の堀に

ぽっちゃん

とち みお あき ふか
栃の実落ちて秋の深まる

盛岡市 鈴木 充

たくぼく あやか かんせいと す
啄木に肖り感性研ぎ澄まし

お ぼふ し
落ち葉踏み締む

もりおかじょうあと
盛岡城跡

青森県青森市 鈴木 操

秋の部へジュニア部門へ

優秀賞

該当なし

【講評】

一般部門

秋の部を担当するのは初めてですが、心のこもった作品が多く寄せられ嬉しく思います。岩手や盛岡、そして啄木に対する思いの深さがどの歌にも表れており感心いたしました。中には、もう少し推敲すれば、もっと良くなる歌が多くありましたので、投稿する前に推敲することを心がけて欲しいと思います。

令和元年十二月選 秋の部

投稿数 百十二首

選者 山本 豊